

令和5年度 下野市立石橋中学校第1回学校運営協議会議事録

令和5年4月26日(水)

14:00～ 於：石橋中学校会議室

記録 秋山

1 任命書交付 代表 青木 正徳 様

2 参加者自己紹介

学校運営協議委員

青木 正徳 様 池上 行雄 様 大塩 宗里 様 柏崎 松美 様 坂口 修 様
山口 容子 様 西本由利子 様 倉井 隆史 様 中川 賢一 様 田熊 利光 様 (校長)

地域学校協働活動推進員

橋本 俊明 様 (石橋公民館)

事務局

藤森あゆみ (教頭) 秋山 実 (教務) 小崎 良行 (生徒指導主事) 矢口 裕子 (事務長)
鯨 昭文 (地域連携教員)

3 会長・副会長選出

会長 青木 正徳 様

副会長 柏崎 松美 様

4 学校経営方針等の説明並びに承認 (校長より)

①教育ビジョン

教育観の共有 (授業観・生徒指導観・学校行事観)

②授業・行事・部活動

授業に関して主体的で対話的で深い学びを目指して「学びあい」の授業の展開

生徒指導に関して共感・受容・聞き合う・何でも言い合える信頼関係づくり

教師の役割の変化について 過去・インストラクター

現在・ファシリテーター

未来・ジェネレーター

5 学校からの協力をお願い (校長より)

・学校行事、授業でぜひ地域人材を活用していきたい

生徒が社会に目を開くきっかけ作り

本物との出会い

6 意見交換 (敬称略)

発言者	発言内容
中川委員	・学校に任せていたものを地域が一体となって育むような組織になっていかなければならない。
西本委員	・小中学校の交流授業などは具体的にどのように行っているのか。
田熊校長	・小学校からの要望に応じて、実技教科の先生が中学校から小学校へ教えに行ったり、5教科でも、要望があった場合に小学校に教えに行ったり、また、小学校の先生が、希望して中学校に教えに来て一緒に授業を行ったりしている。

発言者	発言内容
池上委員	・最近の子どもたちは、個性がなくなっている。
中川委員	・手のつけられないような生徒はいないが、その代わり一人一人への対応が難しくなっている。最近では、SNSなどを使つての問題などもありより難しくなっている。
坂口委員	・それでも学校で行っている情報モラル教育や講習会が成果を発揮している。完全になくなるのは、まだまだ時間がかかるかもしれないが。
倉井委員	・今は、不登校生が問題になっていると思うが、その意味合いが違う。昔ならば反社会的な行動で非行に走ったが、今は、非社会的な行動で、閉じこもってしまい社会との接触を避ける。今の方が先生方も圧倒的に大変だと思う。
田熊校長	・そのような生徒でも、学校と繋がることで登校できるようになってきた生徒がいる。
柏崎委員	・地域の教育力という点では、ゲストティーチャーを呼んで活動することもあると思うが、例えば、昨年行ったふくべ細工を今年も実施するように同じことでもいいので今年も続けてほしい。
池上委員	・時間が合えば、警察犬の訓練に関する話や家庭教育学級などで講話を行ってもよい。
西本委員	・母親同士の交流も減少している。母親の友人がいなくなったり、育成会もなくなったりしていて、繋がるものが減っている。
中川委員	・そのようなことも含めて何でも学校に頼ってしまっている。
橋本委員	・公民館にいくらでも言っていただきたい。学校応援団として活動していきたい。外側から学校を応援する環境を整えたい。
山口委員	・アナフィラキシーショック等の対応はどのようにされているのか。いまのところ学校では起こっていないようだが、自分でもなってしまうと大変苦しい思いをした。
田熊校長	・エピペンの使い方や緊急時の対応について毎年研修を行っている。

7 連絡・その他（校長より）

- ・アトリウムについて
県でも動いてくれている。ドローンを使って鳩が入らないようにしたり、業者を頼んで、アトリウムの清掃を週に2回、屋根の清掃を月に1回行ってくれたりしている。排水溝の清掃も頼んでいるが、排水溝の清掃は、まだ入っていない。
- ・体育館の設備について
来年度以降になるが、ライトをLEDにかえてもらえる。冷房については、そのあと検討してもらえらる。
- ・第2回、第3回学校運営協議会日程について
第2回は10月26日（木）、第3回は2月15日（木）どちらも14時から会議室について行います。

8 閉会